



2020年11月4日

各 位

会社名 文化シャッター株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 潮崎 敏彦  
 (コード番号 5930 東証第一部)  
 問合せ先 執行役員 経理部長 西村 浩一  
 (TEL 03-5844-7200)

## 業績予想並びに剰余金の配当（中間配当）及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年8月4日に公表いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を下記の通りお知らせいたします。

また、当社は2020年11月4日開催の取締役会において、下記の通り2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想について

## (1) 2021年3月期通期連結業績予想数値（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	171,000	7,400	8,500	5,500	76.72
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	184,239	9,485	10,003	6,603	92.11

## (2) 連結業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

売上高につきましては、リフォーム事業における住宅リフォーム事業において対面営業が困難となっていることやロックダウンによる海外子会社の業績等に新型コロナウイルス感染拡大による影響が出ており、現時点における手持受注状況を勘案し、通期の売上高は1,710億円（前期比7.2%減）を予想しております。

また、利益面につきましても、売上総利益率の改善と業務効率の向上によるさらなる企業コストの削減に努めて参りますが、売上高の減少による影響により、営業利益は74億円（前期比22.0%減）、経常利益は85億円（前期比15.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は55億円（前期比16.7%減）と前期と比べ減益の予想をしております。

## 2. 剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年8月4日公表)	前期実績 (2020年3月期中間)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり 配当金	12円50銭	未定	12円50銭
配当金総額	896百万円	—	896百万円
効力発生日	2020年12月1日	—	2019年11月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### 3. 配当予想について

#### (1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—
今回修正予想	—	12円50銭	25円00銭
当期実績	12円50銭	—	—
前期実績(2020年3月期)	12円50銭	12円50銭	25円00銭

#### (2) 配当予想の理由

当社の利益配分に関する基本的な考え方は、財務体質の強化と安定的な利益確保により株主への安定配当を継続しつつ、業績を勘案して配当額を決定することを基本方針としております。

2021年3月期の配当予想につきましては、連結業績予想と同様に未定としておりましたが、今回算定した2021年3月期連結業績予想及び財務状況等を総合的に勘案し、2021年3月期の期末配当金につきましては12円50銭とし、中間配当金12円50銭とあわせて年間25円とさせていただきます。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上